



キリン食生活文化研究所

2016年7月19日
レポート vol.59

～あなたのくらしのアンケート～

親子のコミュニケーション

サマリー

「親子のコミュニケーション」についてどんなことを心がけていますか？

キリン食生活文化研究所は、「親子のコミュニケーション」について調査を実施、18歳以下のお子様がいいらっしゃる20~69歳、計3,437名の回答をまとめました。
(2016年5月25日~5月31日、全国、ウェブ調査)

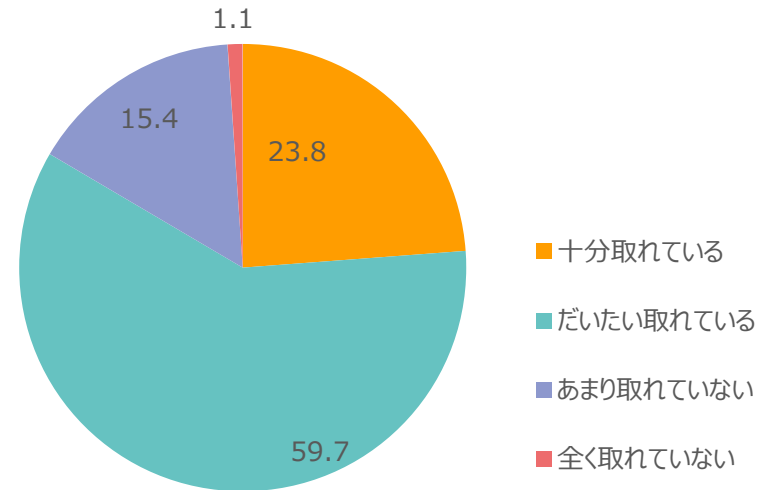
「親子のコミュニケーション」については、「十分取れている」が24%、「だいたい取れている」の60%と合わせると、84%の方が取れていると感じているようです。

コミュニケーションを取る理由としては、7割の方が「一緒に過ごせる時間を大切にしたい」と回答し、母親は親としての義務や責任から、子供の成長に関わって行こうという意識が強く、買い物や料理など、日常生活の中で一緒に何かをする具体的な行動も数多く見られました。

小学校低学年までに大切にしている子供との関わりでは、母親が、「話をよく聞く」、「悩み事の相談に乗る」に加えて、「食卓を囲んでご飯を食べる」、「料理を教える、一緒に作る」などの食を通じたコミュニケーションを大切にしているのに対し、父親は「外で遊ぶ」「どこかに出かける」など、アクティブな行動が多くみられました。

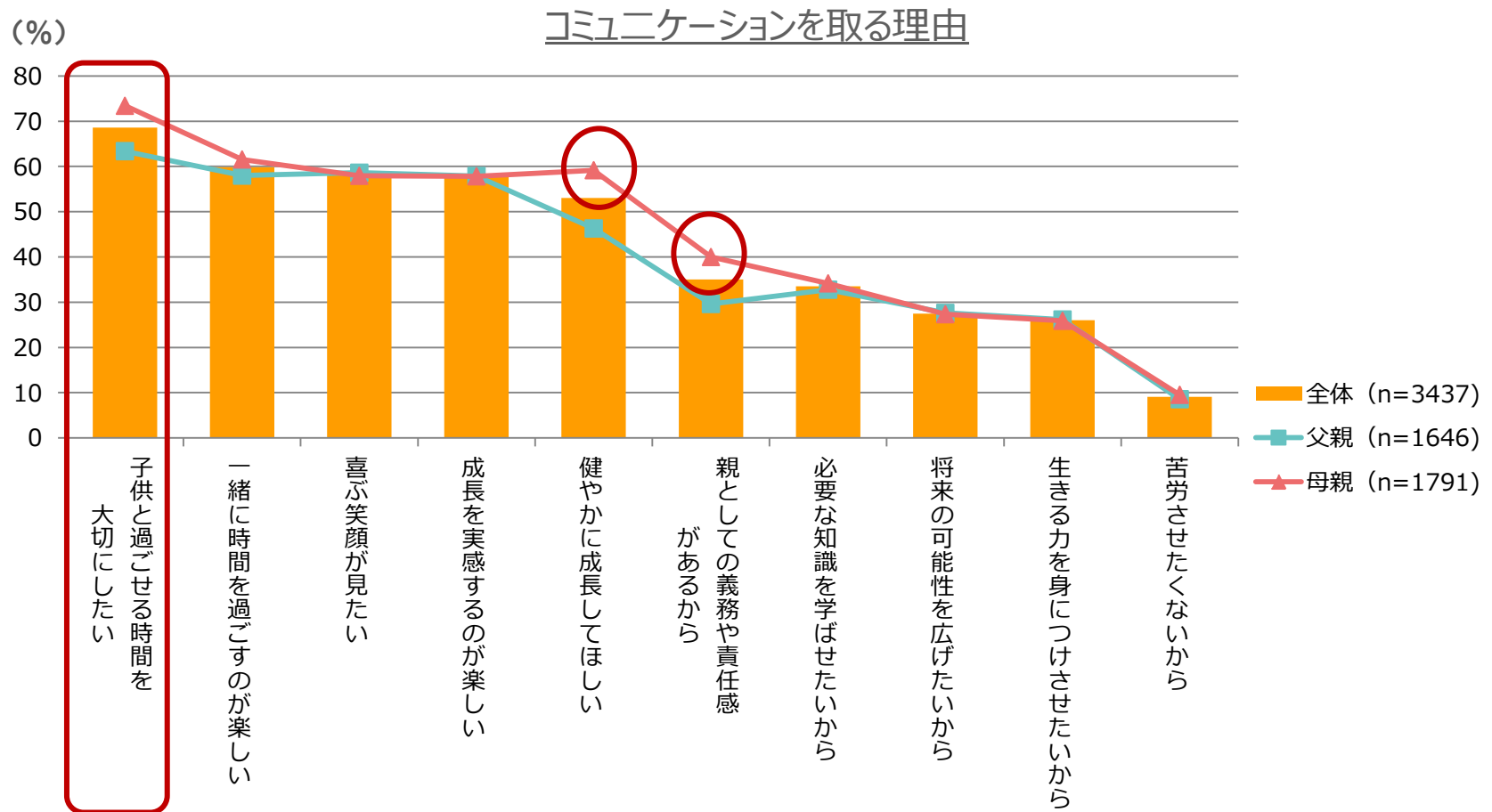
子供との買い物や調理などを通じたコミュニケーションは、大切にしたいと思いつつも、なかなか取るのが大変で、時間や精神的な余裕がハードルとなり、解決が難しいようです。このレポートが親子の関わりについて考えるヒントになれば幸いです。

Q.親子のコミュニケーションは取れている方ですか？



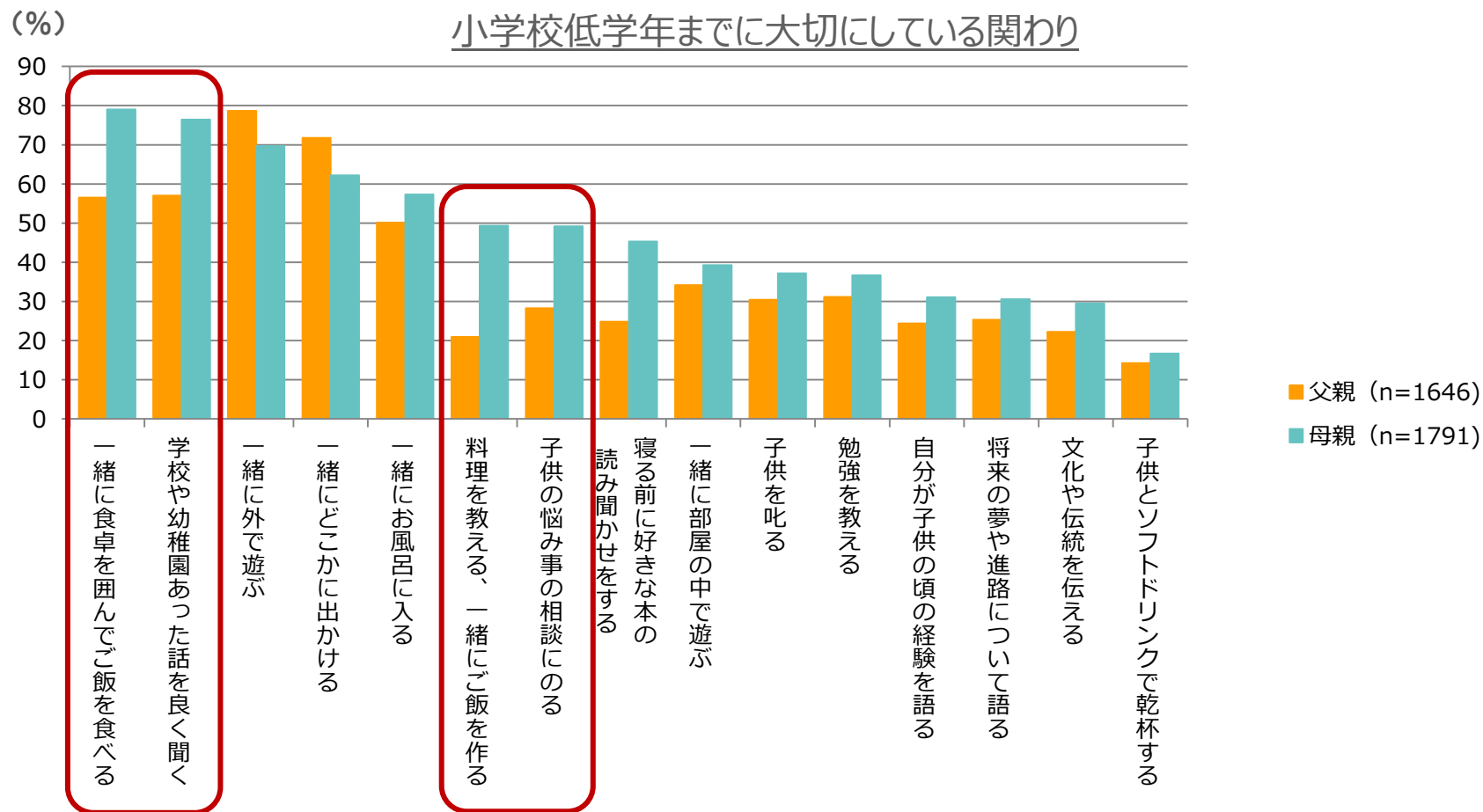
Q.あなたが子供とコミュニケーションをとる理由は？（父母別）

全体では、「子供と過ごせる時間を大切にしたい」との回答が約7割を占めており、一緒に過ごす時間の楽しさや、喜ぶ顔、子供の成長を実感したいという項目が上位に続いている。また母親では、「健やかに成長して欲しい」、「親としての義務や責任感があるから」と答えた割合が高い特徴が見られる。



Q.小学校低学年までに大切にしている関わりは？（父母別）

小学校低学年までに大切にしている子供との関わりは、父母で大きく異なる。父親は「外で遊ぶ」、「どこかに出かける」ことを重視しているのに対して、母親は、「食卓を囲んでご飯を食べる」、「学校や幼稚園であった話を良く聞く」、「料理を教える、一緒にご飯を作る」、「子供の悩み事の相談にのる」の割合が高い。母親として、食を通じたコミュニケーションをこの時期に取りたいという気持ちと、子供の話をよく聞く関係を築きたいという気持ちが見られる。



Q.実際に意識しているコミュニケーションは？（自由回答：0～2歳）

「0～2歳」までの乳児を抱える父母は、子供と一緒にいる時間を大切にする回答が多く、スキンシップやアイコンタクト、丁寧に話しかけ続けることで、子供との触れ合いを大切にしていることがわかる。父親は、平日取れないコミュニケーションを休日に何とか挽回しようとしている。

実際に意識しているコミュニケーション

今ちょうど、1歳の息子がいます。一番好きなコミュニケーションの取り方が、**肩車**です。大きくなったら、いくら乗せてやりたくても、乗りたくても、出来なくなる。だから、**今、出来る時に**乗せています。（20代男性）

スキンシップを大切にしている。（20代男性）

知的好奇心を刺激するように、できるだけ自然界のすべての事象を見せるようにしている（30代男性）

平日は遊んであげられる時間が取れないので**休日は子供のしたい遊びをする**。（30代男性）

休日は、可能な限り**食事を一緒に**とり、家族で子供の喜びそうな場所に行くよう努めてます。（30代男性）

休みの日は**家族3人で必ず外出**する。毎日の保育園の送迎の際に会話をする。（30代男性）

仕事以外の時間は子供と接するようにしている。寝る時間を少なくともかまわない。（30代男性）

ただただ愛情を注いでいます。目を見る、笑いかける、話しかける、抱きしめる。**触れあいを大切に**しています。（20代女性）

まだこちらの言っていることはわからないだろうけど**たくさん話しかける**ように気をつけている（20代女性）

言葉を伝えるのはもちろん、**体に触れた**コミュニケーションを大事にしています。手を繋ぐ、抱きしめる、ほっぺにチューをする等、**どンドン触れています**（30代女性）

まだ4ヶ月だけど、いつも**話しかけている**（30代女性）

まだ喋らないので、なるべく**目を合わせて話しかける**ようにしています。（30代女性）

リズム遊びをしたり、**歌を歌う**（30代女性）

子供が絵本やテレビを見たりしている時などに、指差ししながら「ん～」と何かを聞いてくるので、家事をしながら、その都度、「車だね。ライオンだね。」など、**問いかけにちゃんと答えてあげる**。（40代女性）

Q.実際に意識しているコミュニケーションは？（自由回答：3～5歳）

「3～5歳」までの子供を育てる父母は、子供と一緒に同じ目線で遊ぶことを意識している意見が多い。また、自我が芽生え始めるこの時期に、子供のやりたい気持ちを尊重し、見守りながらやらせることや、親が背中を見せることで自発性を養おうとする記述も見られた。働く母親からは、限られた時間の中で一緒にいる時間を捻出しようとしていることが伝わってくる。

実際に意識しているコミュニケーション

読み聞かせをしてあげる。（20代男性）

子どもと一緒になんでもすること。子どもと**物理的に向き合う**こと。（20代男性）

私が**周囲の人と接する姿を見せる**ように意識している。例えば、大きな声で挨拶したり、エレベーターを譲ったり。そうすることで自然と気を配れる優しい娘になってくれるかなと、思っています。（30代男性）

なるべく外に出て、公園等で**一緒に遊ぶ**。自然と触れ合えて一石二鳥だと思います。（30代男性）

休日は公園など一緒に行くようにしている。**子どもが遊びたいと言った遊び（人形遊びやままごと）を尊重して一緒に遊ぶ**。（30代男性）

幼稚園で誰と遊んで**何があったか聞く**（30代男性）

子供の想像力を鍛えるために、独創的な遊び方でも危険なことがないように**見守りながらやらせてあげる**ようにしている。（30代男性）

よく**買い物と一緒に行く**事です。いろんな野菜や果物やお花を見せてこれは何何だねとかそういう会話を楽しんでいます。（20代女性）

子供と**全力で遊ぶ**！！（20代女性）

子供の関心事にはなるべく寄り添う。子供の頑張った成果にはなるべく関心を持つ。（30代女性）

一緒に何かをする時間が多いほど自然とコミュニケーションは取れるので、一緒に何かを出来る事は一緒にする。子供が「自分がやった感」や、さり気なく知識や道徳を教えたり出来るので良いと思う。（30代女性）

仕事で平日なかなかユックリとした時間がとれないが、**毎日必ず膝の上に座らせ一絵本を読む**。（30代女性）

一緒にたくさん遊んで、お手伝いも自分で**やってみたいと言った事はできる限り一緒にやってみる**（40代女性）

フルタイムで働いていて、毎日保育園のお世話になるので、夕方お迎えに行ったら「お互い1日ががんばったね」の意味を含めて、必ず**抱きしめてます**（40代女性）

Q.実際に意識しているコミュニケーションは？（自由回答：6～8歳）

子供が小学校に入ると、自然と子供との時間は短くなり、子供の生活リズムに合わせたコミュニケーションに変化していくのが読みとれる。宿題や勉強を見ることや、学校でその日何があったのかをじっくり聞くことで、子供のことを理解しようとする記述が多くみられた。子供とジョギングや野球など一緒に出来る趣味を持つというのもこの世代の子を持つ親の特徴と言える。

実際に意識しているコミュニケーション

毎朝のジョギングをしています！子供と！（20代男性）

テレビに任せるのではなく少しでも**一緒に作業できるよ**うに何かを作ったり、勉強したり遊んだりしています。
（30代男性）

少年野球に所属していて、休日は見に行きノックなどを手伝いをして夜野球について**語り合う**。（30代男性）

いろんな体験を家族でする。例えばファミリーコンサートや、野外音楽フェス、ハイキング、ピクニック、映画、ショッピング、旅行、外食、博物館めぐり等。子供は体験の数程大きくなると思うから。（30代男性）

子供が頑張っていることや成功したことなどを**きちんと笑顔でほめてあげる**こと。話をしてきた時は**目を見てキチンと聞く**こと。（30代男性）

子供との時間を過ごしながら、**躰と教育を一緒にしています**。小さなことでも良いことと悪いことを一つずつ教えていくことを意識しています。（40代男性）

趣味を通じてのコミュニケーション。（40代男性）

学校の**宿題**は子供がやってるのを見てあげる！お外では毎日お友達と遊ぶので仲間に入って**一緒にあそぶ**！ごはんは**一緒に手料理をつくる**！（20代女性）

今日1日どんな事があったか、**会話を大切に**しています。
（20代女性）

必ず、**対面で据わってゆっくり話す時間を作る**。些細なことでも、耳を傾ける。（20代女性）

平日はフルタイムで仕事をしていて中々子供と話をする時間がとれないので、**夕食時はテレビを消して今日あったことなどを話す**様にしています。（30代女性）

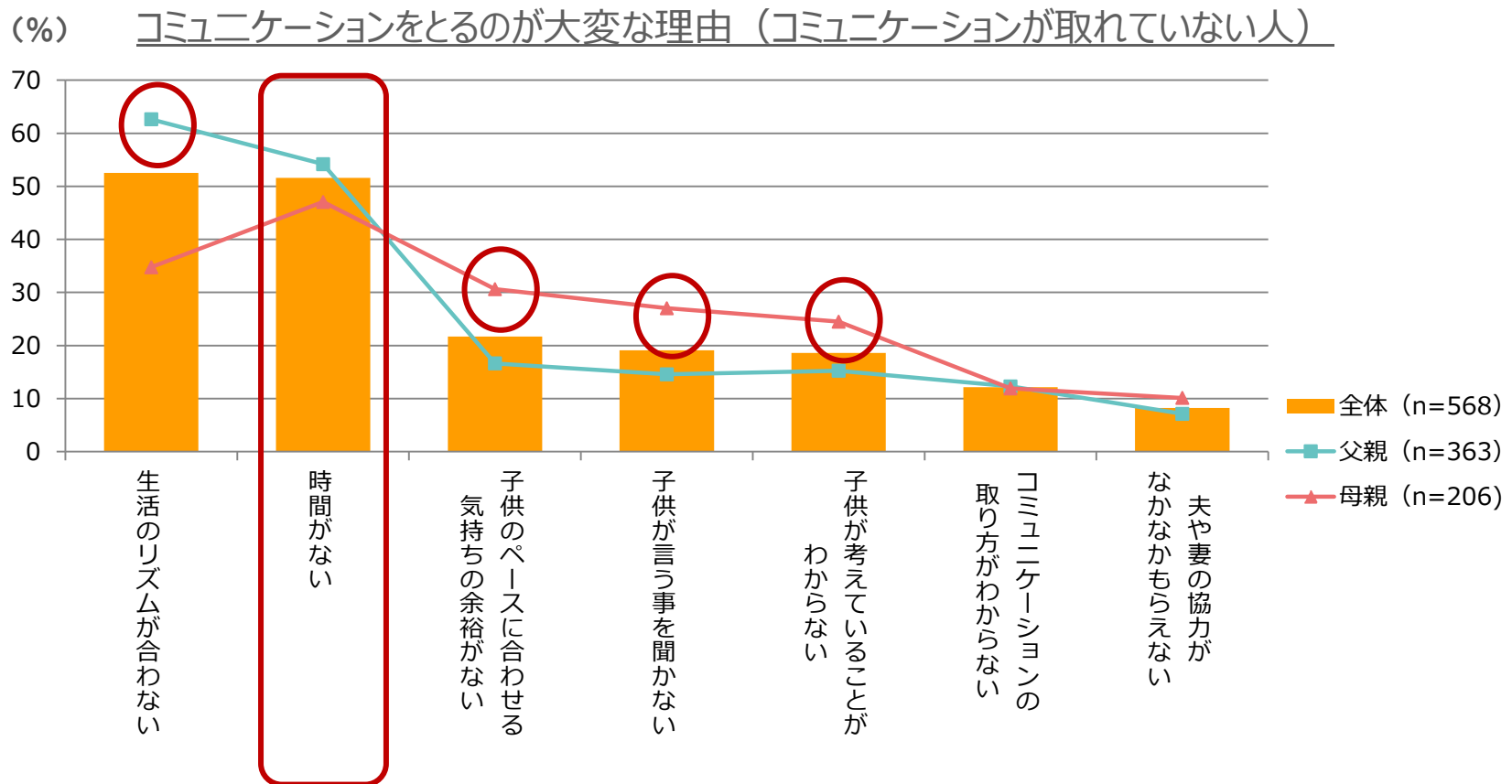
夜ご飯のお手伝いをしてもらい、**料理を一緒に作る**。お米研ぎや野菜を切ったり、シンク掃除もしてもらう。
（30代女性）

子供のやっている**ゲームやテレビを一緒に見たり**して、情報を共有できるようにしている。（40代女性）

その日にあった**出来事を聞いて**話を広げる。**宿題を見てあげる**。お手伝いをしてもらう。（40代女性）

Q.子供とコミュニケーションをとるのが大変な理由は？（父母別）

子供とのコミュニケーションが、「あまり取れていない」、「全く取れていない」と答えた方に、取るのが大変な理由を聞いたところ、父母共通して「時間がない」が5割強と多く、父親は「生活のリズムが合わない」ことを挙げる割合が63%と最も高い。母親は、「子供のペースに合わせる気持ちの余裕がない」、「子供が言うことを聞かない」、「子供が考えていることがわからない」と回答する人が多く、気持ちと行動のギャップに戸惑ったり、子供との意思疎通に悩んでいる様子が見えてくる。

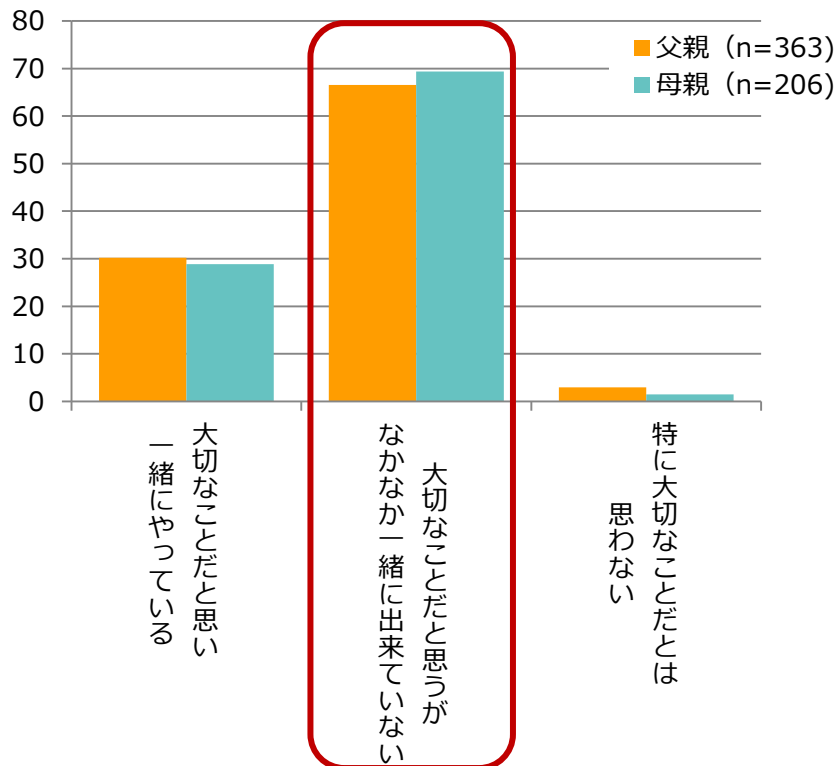


Q.子供と一緒に買い物や料理することは？（父母別）

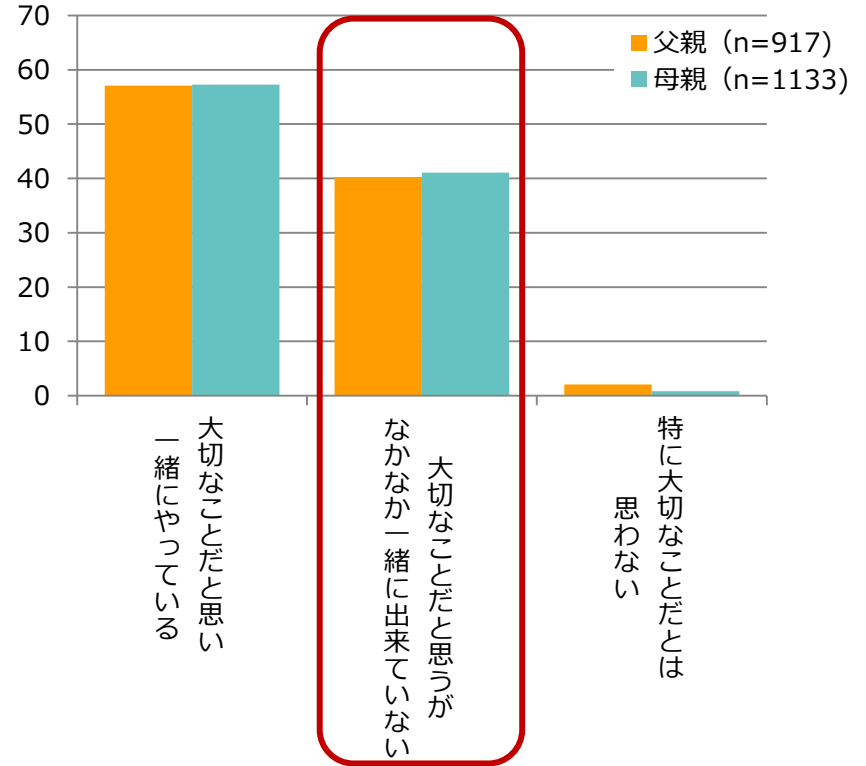
コミュニケーションが取れていない人に対して、具体的に「子供と一緒に買い物や調理をすること」について聞いたところ、「大切なことだと思うがなかなか一緒に出来ていない」と答えた方が70%と、行動に移せていない人が多いことがわかった。また、コミュニケーションがだいたい取れている人でも、4割は一緒に出来ていないと答えており、なかなか実行が簡単ではないことがうかがえる。

子供と一緒に買い物や調理をすることについて

（コミュニケーションが取れていない人）

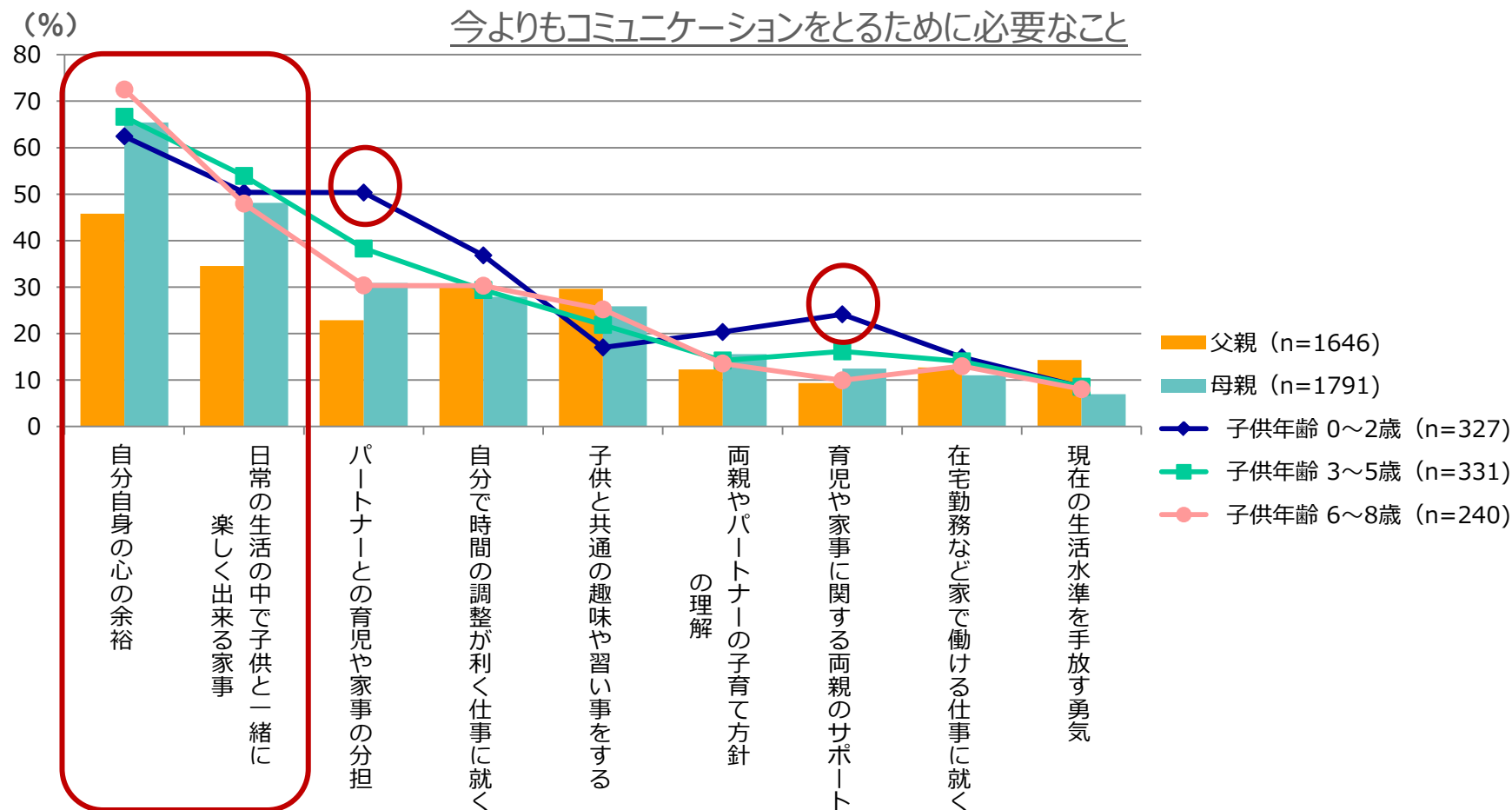


（コミュニケーションがだいたい取れている人）



Q.今よりもコミュニケーションをとるには？（父母別/子供の年齢別）

今よりもコミュニケーションを取るために必要なことを聞いたところ、父母ともに「自分自身の心の余裕」が最も高く、次いで「日常生活の中で子供と一緒に楽しく出来る家事」と続く。いずれも母親で高く、子供の成長に合わせて、日常生活の中で子供に寄り添っていききたい気持ちと、なかなかそうは出来ない時間的、精神的余裕のない現状との葛藤がみられる。また、「0～2歳」の乳児を抱える母親は、「パートナーとの育児や家事の分担」などのサポート的な要素を必要としている。



Q.スマートフォンで親子のコミュニケーションを解決するとしたら？（自由回答）

自由回答で、日頃取れないコミュニケーションを仮にスマホやアプリを使って解決するとしたら？と投げかけたところ、たくさんの方からアイデアを頂いた。子供と一緒に会話をしながら遊びたい、子供の成長していく過程を後からも楽しみたい、思春期の子供や言葉が分からない子供と心を通わせたいという、アイデアの背景にある想いが伝わってくる。

実際に意識しているコミュニケーション

親と子どもが一緒にやらなきゃ出来ない遊び。親用と子ども用と問題がわかれて交互に出題されるようなクイズ形式のすごろくとか。今あるものは子どもが一人占めしてコミュニケーションがとりづらい。（30代男性/3～5歳）

一緒に会話しながら遊びたい

お互いの似顔絵作、協力し合い一緒にできるゲーム、かわりばんこに朗読できる絵本（20代女性/0～2歳）

親子の日記帳。はなまるをつけてあげたり、アドバイスをしたり、これを元に話も弾むと思います。目に見えるもので、親子の確認ができるもの。また記録、過去のものが閲覧できるようにできれば、楽しいものができると思います。（30代男性/3～5歳）

成長する過程を記録として残したい

食材のイラストが表示され、複数選択、その食材で作れるメニュー・レシピが調べられる。それをもとに親子で一緒に料理する。子供が楽しみながらイラストで食材の名前を覚え、興味を持った食材を選択、そこから何の料理が作れるのか？を知り、実際に作って食べる。（20代女性/0～2歳）

大人の言葉をわかりやすく解説し気持ちをさっしてくるアプリ。それによって気持ちが伝わりやすくなる。（30代男性/3～5歳）

お互いの気持ちを通わせたい

毎日家族で日記を書いてそれを家族全員が見れる。もし子供が大きくなって喋る機会が減ってもその日のことなどが分かる。（20代女性/3～5歳）

現在の気持ち（心理状態）が数値などで表現できるもの。（40代男性/13～15歳）

交換日記みたいなアプリがあればお互い書き合いをして口ではなかなか言えない事などを伝えたりしたい。（40代女性/16～18歳）